様式２

| 番号 | 発行者の番号・略称 | 使用学年 | 教科書の記号・番号 | 教科書名 |
|---|---|---|---|---|
| 観点 | 46・帝国 | 第１・２学年<br>地理的分野 | 地理・727 | 社会科　中学生の地理<br>世界の姿と日本の国土 |
| 取扱内容<br>（学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等） | ○　世界の地域構成に関する内容<br>　地球規模の大陸と海洋の大まかな形状と位置関係から世界の地域構成を大観したり、世界の主な国の国名や国旗の由来から世界の国や地域についての関心を高めたりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。<br>○　世界各地の人々の生活と環境に関する内容<br>　世界各地の気候帯や衣食住に着目して人々の生活の様子を考察したり、宗教や生活、自然環境とのかかわりから生活や環境の多様性を理解したりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。<br>○　世界の諸地域に関する内容<br>　世界の6つの州ごとに自然や気候、人口分布等から州ごとの地域的特色を大まかにとらえたり、アジア州では、「巨大な人口と急速な経済発展」という主題を設けて地理的特色を理解したりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。<br>○　世界の様々な地域の調査に関する内容<br>　韓国の調査例を示し、食文化や工業の発展等、適切な主題を設けて追究したり、調査結果をレポートにまとめ、発表する学習を取り入れ、調査を行う際の視点や方法を理解したりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。<br>○　日本の地域構成に関する内容<br>　地図を活用して、日本と世界との時差や日本の都道府県と地域区分を調べたり、北方領土や竹島、尖閣諸島について、地図や写真等から位置を示すなど、日本の領域をめぐる問題を理解したりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。<br>○　世界と比べた日本の地域的特色に関する内容<br>　地形や気候と関連する自然災害や防災、減災の取組を取り上げたり、世界的視野から世界や国内の人口分布、地域間の結び付きの特色を理解したりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。<br>○　日本の諸地域に関する内容<br>　日本を7つの地方に区分し、九州地方を自然環境の視点から、中国・四国地方を他地域との結び付きの視点から取り上げるなど、それぞれの地域の特色を概観し、テーマを絞って考察する活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。<br>○　身近な地域の調査に関する内容<br>　東京都練馬区での調査例を示し、調べるテーマに基づいた野外調査や資料収集の方法を取り上げたり、地域の課題や将来像を考え、主体的に社会の形成に参画する態度を身に付けたりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。<br>○　知識・技能の習得、活用、探究への対応<br>　節末に、学習したことを図や文章でまとめたり、説明したりする活動を位置付けるなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。 | | | |
| 内容の構成・排列、分量等 | ○　内容の構成・排列<br>　「世界の様々な地域の調査」において、レポートにまとめ、発表する学習の後に、「身近な地域の調査」において、身に付けたまとめ方を活用するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。<br>○　内容の分量<br>　「世界の様々な地域」は118ページ、「日本の様々な地域」は157ページであり、総ページ数は280ページで、前回と同様となっている。 | | | |
| 使用上の配慮等 | ○　北海道の開拓の歴史や自然環境の克服等、「歴史的背景を中核とした考察」から北海道を取り上げたり、アイヌ語に起源をもつ北海道の地名や伝統的なアイヌ文様の刺繍がほどこされた衣服の写真を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。<br>○　「技能をみがく」で、写真やグラフ等の見方を身に付ける活動を取り入れたり、「やってみよう」で、学習したことを活用する活動を取り上げたりするなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。<br>○　教科書に載っているマークやコーナーについて説明するページを設けるとともに、各ページに用語解説、巻末に世界の家畜の写真を掲載したり、全ての生徒が学習しやすいよう、識別しやすい色にしたりするなど、使用上の便宜が図られている。 | | | |
| その他 | ○　北海道に関連ある教材は、北方領土について 4 ページ、「日本の諸地域」における北海道地方について 12 ページ、アイヌの人たちの歴史・文化等について 3 箇所が取り上げられている。<br>○　通常ページには、「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」を設置し、予習・復習しやすいよう配慮されている。<br>○　見開きにおけるデザインやグラフ・地図などの資料において、色覚に特性のある生徒でも識別しやすい色を使うなどの配慮がされている。 | | | |